

この会の名称は・・・？

この会の名称「(仮称)自治基本条例検討委員会」が長いし、言いづらい・・・ということで、グループになって会の名称を考え、7つの個性豊かなアイデアが出ました！次回、みんなの投票で名称決めを行います！！



いろんなものをつくりだす
=創造する会に！

長久手タウンメカズ
N.T.M



今日の参加者は43人！

みらい・長久手びと
略称 MNB43



自治研、自治憲、自治検・・・

自治KEN



メンバーそれぞれが考えた会の
名称の頭文字がすべて“NJ”に！

NJ会



とにかくみんなハッピー！！

ハッピーな会



未来を考える「Crew(乗組員)」
明るい未来が「来る」！

未来クルー(ミラクル)



夜な夜なまちのことを考える会

よなよなNJK!
～まちのことを考える委員会～

アンケートより

《楽しかった！》

- 多くの人と交流できてよかった。
- 導入部分としては、知らない人が多かったが、ゲーム感覚で顔や名前を覚えることができてよかった。

《みんなの思いが聴けた》

- 条例とは堅苦しいルールのことではなく、みんなの思いなんだということに気づいた。
- みんな長久手のことが大好きなこと

《コミュニケーション》

- 話し合うことの大切さ。話し合うことができるようになるための方法が大切で良いものであること。

《これからが楽しみ！》

- 長久手の街のことを真剣に考えている人がこんなにいるんだ！という気づきがありました。長久手の未来は明るい！
- 自治基本条例をみんなで考えることはたのしそうだなあと考えた。
- 長久手市を住みよいまちにしたいと思う方々が多く、同じ思いの人と出会えたことがよかった。
- 43人の何となくの雰囲気
- 年代の違う会でのグループでしたが、話してみると基本の考えが同じでは？と思うことができました。

次回の(仮称)長久手市自治基本条例検討委員会

2016.10.17(月)

19:00～21:30

西小校区共生ステーション

この会の名称を決めたあと、長久手の良い点と良くない点を出し合い、まちの将来像をみんなで描いていきます！

作成/長久手市市長公室 経営企画課
発行日/平成28年10月17日
問合せ/経営企画課(企画係)0561-56-0600

(仮称)長久手市自治基本条例検討委員会

News
01
2016.9



2016.9.26(月)

19:00～21:30 参加者43名
西小校区共生ステーション

長久手市において、「地域のことを地域で考え地域で実践する」自治の取組が活発になることを目指し、市民と職員が一緒になって、まちづくりの基本的なルールとなる(仮称)自治基本条例づくりを始めました。

第1回となる今回は、まずは条例制定の背景や目的、検討委員会の役割、今後のスケジュールなどの前提を確認しました。そして、ときほぐしにより場が和らいだあとは、この会や条例に期待することを共有し、さらに、この会の名称を考えました。

プログラム

- 19:00 あいさつ
- 19:10 はじめに(前提の共有)
- 19:20 ときほぐし(アイスブレイク)
- 20:30 休憩
- 20:40 夢語り～期待すること～
- 21:00 会の名称は・・・？
- 21:15 ふりかえり・まとめ
- 21:25 おわりに

はじめに（前提の共有）

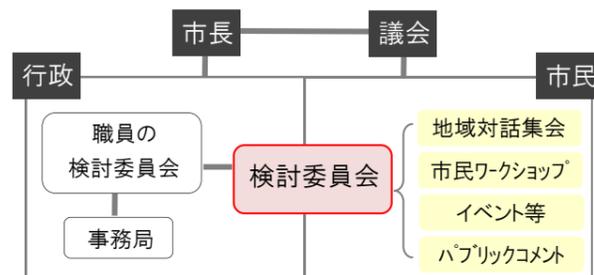
なぜ自治基本条例をつくるのか

地方分権の大きな流れにより、私たちが、「地域のことを 地域で考え、地域で実践する」という「自治」の姿勢を持つことが重要な時代となりました。

多様な暮らしの価値観にあふれる長久手ならではの、まちづくりの基本的なルールが必要と考え、「自治基本条例」づくりに取り組みます。この条例は、市民、議会、行政がどんな役割をもって、まちづくりを行うかなどが明らかにするものです。

制定体制と役割

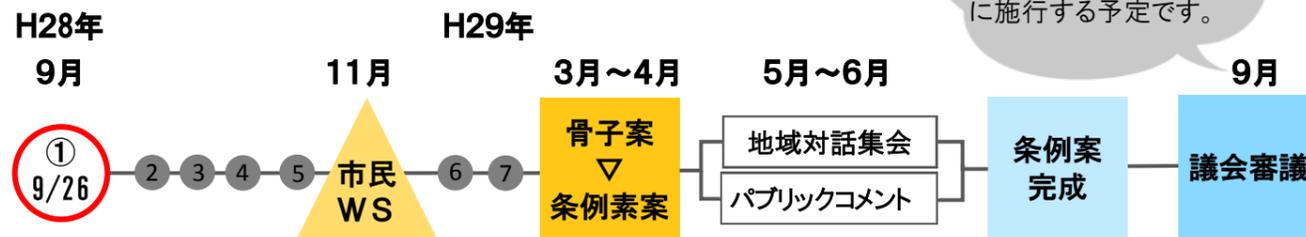
検討委員会： 骨子案を作成つくります。
職員の検討委員会： 条例案をつくります。
 検討委員以外の市民の皆さんの意見をお聞きする場も設けていきます。



制定までの全体スケジュール

平成30年4月に条例の施行（成立した法令の効力を発生させること）を目指して、次のスケジュールで進めていく予定です。

可決されれば、条例が「制定」され、翌年4月に施行する予定です。



各回の検討委員会の日程と内容については、毎回のおしながきの裏面で案内するほか、市ホームページでも知らせます。

ときほぐし（アイスブレイク）



名札づくり&4つの窓で自己紹介

2重の円座になり、前に座った人の名札に似顔絵を描きました。互いに描き合うことで、その似顔絵がすんなり受け入れられ、愛着のある名札になりました。その後は、4つに折った紙に、「行ってみたい場所」「マイブーム」「この会や条例に期待すること」を書いて、互いに自己紹介をしました。

「傾聴」を意識しよう

「聞く」には、意味を含めて「聴く(listen)」、物理的に音を「聞く(hear)」の2つがあります。「傾聴」とは、相手の目を見て、耳に入れて、心に刻むこと。コミュニケーションの中でとても大切な「傾聴」を、ときほぐしを通して体感することができました。



ロジカルプレゼンテーションのコツ “PREP（プレップ）法”

話し相手に、短い時間で物事を伝えやすくするためのちょっとしたコツがあります。それは、右のプレップという4段階の手法です。今回、一人2分で行った自己紹介、実は、このプレップ法を（知らず知らずのうちに）使って話をしていたのです。“プレップ”を覚えておくと、これから色々なシーンで活用することができそうです。

- P** -point 結論「～だ！」
- R** -reason 理由「なぜならば・・・」
- E** -example 事例「たとえば・・・」
- P** -point 結論「ゆえに・・・」

夢語り～世界にひとつだけの木～

この会、条例に期待することを一人ずつ語り、大きな木に貼っていき、世界にひとつだけの木ができました。

参加のまちづくりのルールや市民・行政の関係・役割のルールづくり

- 市民による公共サービスの担い手を創り易くする
- まちづくり協議会設立
- 積極的情報公開制度
- 行政の心からの譲歩
- 市民参加の加速

自治や条例、長久手をもっと勉強、知る、味わう機会に！

- みんなで話し合ってもものをつくる、決めるとき、どんな風にすればよいのか学びたい
- 長久手市が安全・安全なまちとなり、住民自治とは勉強する機会を得るため
- 長久手をもうちょっと知りたい
- 自治の喜びを味わう

みんなが良い条例づくりを！

- 今までにない話し合いの方法で、今までにない仕組みの条例を作りたい
- 市民の思いが詰まった条例が作れるといいな
- 長久手にずっと住み続けたいと思えるものをみんなで作り上げたい

わたしがこの会、条例に期待すること

- こんなまちになったらいいなあ～
- 子どものその子どもの未来
- 老人から子供まで楽しく住みやすいまちづくり
- 女性活躍の場、福祉の充実、住みたいまちTOP2の維持
- もめごとの多いまちづくり
- 快適な住みやすいまちづくり
- 長久手の人たちとたくさん出会い良い街にしてい
- 地域行事への積極的参加のきっかけ
- 人とのつながり
- 仲間や友だちづくりの機会に！
- ながくてのまちづくりについて話し合える仲間をつくりたい
- 長久手にたくさん友達を作りたい！
- 支え合い・助け合いを！
- 支え合い
- 助け合い

